

スポーツの秋の恒例となった第4回洞爺湖町高齢者運動会（主催同実行委員会）が10月19日あぶた体育館で開かれ、65歳以上の男女約180人が参加。

鈴木正直委員長が「元気に楽しい運動会になるようがんばりましょう」と挨拶し、競技が開始されました。

競技は、4グループに分かれ、「大玉ころがし」「一発命中」などの種目で競いあい、日頃の運動不足解消と仲間との交流に、参加者は大いに盛り上がっていました。



運動会を楽しむ参加者たち

元気に高齢者運動会 いろいろな種目に挑戦

地域に根ざしたボランティア活動 ななかまどの夕べ開催

毎年の恒例となっている第4回ななかまどの夕べ（主催ななかまどの会=坂井千枝会長）が、10月23日洞爺湖文化センターで開かれ、約100人が参加し、生バンドをバックにダンスを楽しみました。



ステップも軽くダンスに興じる参加者ら

会に先立ってボランティア振興基金とななかまど文庫に対する寄付が行われ、坂井会長から来賓として出席した大久保社会福祉協議会副会長と真屋教育長にそれぞれ2万円の目録が手渡されました。

プロダンサーのデモンストレーションの後、バンドが入ると一斉にダンスの花が咲き、来場者は、楽しい夕べを過ごしました。

ミニバレー大会 地域住民の交流深める

地域住民の交流を目的に10月26日町民ミニバレー大会（主催体育振興連絡会=水戸光彦会長）が、虻田体育館で行われました。

町内の自治会を基本単位に12チーム55人が参加して、仕事終えた疲れも吹きとばし、熱戦が繰り広げられました。

試合は、1チーム4人構成で、4チームずつ3ブロックで予選のリーグ戦を行い、各ブロックの1位同士が決勝トーナメントを戦う方式。

決勝は、温泉8区と同5区の温泉同士の戦いとなり2対1で温泉8区が優勝を勝ち取りました。



熱戦をくり広げたミニバレー大会

芸術の秋、洞爺湖文化団体協議会（越前谷邦夫会長）が、2009総合文化祭を開き、日ごろの活動の成果を披露しました。

虻田支部では、10月17日の箏アンサンブルの演奏会をかわきりに、24日、25日の両日は、あぶたふれ合いセンターで、ステージ部門の発表会が開かれ、満員の来場者を前に、歌や踊りが披露されました。

10月31日～11月3日までは、展示部門の発表が母と子の館で行われ、菊の展示をはじめ各種サークルから多くの作品が、並べられました。

洞爺支部では、11月22日総合センターでステージでの発表会が開かれます。



華麗な踊りなどが披露された総合文化祭

芸術の秋 総合文化祭で成果を発表

まちのわだい